

防災だより

平成30年6月号



☆今回のテーマ **防災用品何をそろえる？**

「備えあれば憂いなし。」

何を準備しておけばよいか考えてみよう。

1 実際に生命の危機に陥るリスクを軽減するもの

- ・家具の固定・ガラスの飛散防止対策グッズ
- ・怪我の大半が家具の転倒、ガラス飛散によるものであることを考え、室内の安全性を高めましょう。特に寝室の環境に配慮し、頭の上に家具が倒れてこないような配置にしましょう。(頭を守ることが重要になります)

2 自宅が危機に面した場合、避難を手助けするもの

- ・安全に避難するための道具
(厚手の靴下、煙よけのタオル、居場所を知らせるためのホイッスル、伝言用のガムテープ)
- ・真っ暗闇の中を避難するかもしれないので、ライトなど
- ・情報を得るためのラジオ

3 避難所生活が長くなる場合に、健康維持のために必要なもの

- ・水を蓄えるための大きなポリタンクがあるとよいでしょう。
 - ・新聞紙は、ビニール袋に入れて、食器のほこりよけなどに
- 人それぞれに置かれている状況が違うため、オリジナル防災グッズを用意しましょう。

＝用意しておきたい防災用品例＝



ラジオ



非常食



水



ポリ袋



毛布



乾電池



懐中電灯



軍手



歩きやすい靴



現金

参考資料：NHK そなえる防災 <http://www.nhk.or.jp/sonae/>

■飲料水 1人1日3リットルが目安

■非常食 保存期間が長く火を通さなくても食べられる食品（レトルト食品、インスタント食品、クラッカー、缶詰など安価な日用品をストックして古いものから消費していけば良い）。

■医薬品 常備薬、三角巾、包帯、ガーゼ、脱脂、ばんそうこう、はさみ、ピンセット、消毒薬、整腸剤、持病のある方はその病気のための薬（薬品名のメモも）

■衣類 重ね着の出来る衣類、防寒具、毛布、下着類、靴下、軍手、雨具、カイロ

■停電時用 懐中電灯、ろうそく、マッチ、携帯ラジオ、予備の電池

■役に立つ日用品 布粘着テープ（油性マジックを使ってメモに使用したり、ガラスの破片を取るときに利用できる）、ラップ（水不足の時に食器に使用、保存など多用途に使える）